

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	市
	事務事業	農業経営安定対策事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要
 主食用米の生産調整と経営所得安定対策の円滑な推進を行うため、市内の農業生産者に対し、経営所得安定対策制度の助言・指導等を行うとともに、所得安定対策のための補助金を交付する。

29年度概要
 営農計画書、制度のパンフレット等を農家に配布。地区ごと説明会を開催。
 水田システムへの入力による水田台帳管理。
 交付対象作物の現地作付確認。
 交付対象作物の販売確認。

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------


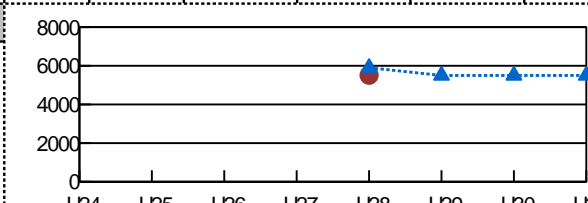

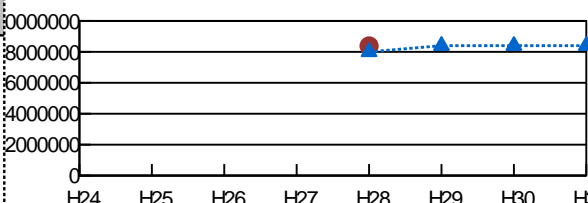
【事業の目的】

対象(何を)	市内における農家
意図(どのような状態にしたいか)	一年間の営農計画書を提出してもらうことにより、農地の保全管理、有効活用を図る。 また、経営所得安定対策を市内の農業生産者へ周知徹底を図り、制度への積極的参加、制度の有効活用をしてもらい、農業経営の安定と国内生産力の確保を図っていく。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
農業者戸別所得補償制度の周知人数	人			15,018	15,000	15,000
地区説明会の開催数	回			36	36	36

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
農業者戸別所得補償制度交付金交付申請者数	人	目標値			5,900	5,500	5,500
		実績値			5,511		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 交付金の申請者数については、農業者の高齢化に伴い減少したが、交付対象作物の作付面積については、推進作物の作付拡大に伴い計画どおり達成した。 		(目標達成度)					(達成度) 93.4%
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 経営所得安定対策等の周知度は一定の成果をあげてきており、交付対象作物の作付面積は少しずつ増えてきている。また、農地を担い手に集約することにより、経営規模の拡大傾向もでてきている。 		(目標達成度)					(達成度) 104.8%
交付対象作物の作付面積	m ²	目標値			8,000,000	8,400,000	8,500,000
		実績値			8,382,865		

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)
トータルコスト	[千円]	50,093	50,190	50,355	50,152
(事業費)	[千円]	23,521	22,553	22,091	21,888
(職員人件費)	[千円]	26,572	27,637	28,264	28,264

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

農家に一年間の営農計画の作成を促し、農地の保全・活用、農業振興を図ってきた。米については、需要に応じた生産を進めてきたが、米価下落、農家の後継者不足等により、作付面積の減少が加速している。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

主食用米の交付金が平成 30 年より廃止になり、生産数量目標の設定がされなくなることを受けて、県オリジナル品種のおいでまいの振興、国の戦略作物の振興、市推奨の野菜等の作付拡大を図り、農家の営農意欲を促進していく。